

## 平成 29 年度口頭発表等一覧

### [企画部]

- ◇日本地球惑星科学連合 2017 年大会 平成 29 年 5 月 20 日～25 日 幕張メッセ (千葉県千葉市)
  - ・地学教育での国土地理院ホームページの利活用について：小白井亮一
- ◇第 46 回国土地理院報告会 平成 29 年 6 月 7 日 日経ホール (東京都千代田区)
  - ・第 3 期地理空間情報活用推進基本計画について：石関隆幸
  - ・噴火によって拡大した国土を測る (西之島の事例)：植田勲

### [測地部]

- ◇第 23 回欧州 VLBI 事業 (EVGA) 会議 (23rd Working Meeting of the European VLBI Group for Geodesy and Astrometry) 平成 29 年 5 月 14 日～19 日 チャルマース工科大学 (スウェーデン・イェーテボリ)
  - ・VGOS development for Ishioka 13-m antenna (石岡 VLBI 観測施設における VGOS 整備状況について)：若杉貴浩・梅井迪子・豊田友夫・石本正芳・川畑亮二 (国土交通省)・宮原伐折羅
- ◇地球惑星科学連合 2017 年大会 平成 29 年 5 月 20 日～25 日 幕張メッセ (千葉県千葉市)
  - ・持続可能な開発のための地球規模の測地基準座標系 (GGRF) に関する国連総会決議：宮原伐折羅
  - ・「地球規模の測地基準座標系 (GGRF)」の強化に向けた国連の活動：宮原伐折羅
  - ・アジア・オセアニア VLBI グループ (AOV) の活動について：川畑亮二 (国土交通省)・若杉貴浩・梅井迪子・Jim Lovell (タスマニア大学)
  - ・だいち 2 号を利用した宇宙からの火山活動の監視：本田昌樹・三浦優司 (測地観測センター)・攪上泰亮・上芝晴香・仲井博之・宮原伐折羅・森下遊 (地理地殻活動研究センター)・小林知勝 (地理地殻活動研究センター)・矢来博司 (地理地殻活動研究センター)・藤原智 (地理地殻活動研究センター)
  - ・石岡 VLBI 観測施設における VGOS 整備状況について：若杉貴浩・梅井迪子・豊田友夫 (測地観測センター)・石本正芳・川畑亮二 (国土交通省)・宮原伐折羅
  - ・地震での地殻変動検出におけるだいち 2 号の貢献：三浦優司・宮原伐折羅・仲井博之・本田昌樹・攪上泰亮・藤原智 (地理地殻活動研究センター)・矢来博司 (地理地殻活動研究センター)・小林知勝 (地理地殻活動研究センター)・森下遊 (地理地殻活動研究センター)
  - ・石岡測地観測局における絶対重力計の国内比較観測の実施及び日本重力基準網 2016 (JGSN2016) の構築：加藤知瑛・吉田賢司・平岡喜文・矢萩智裕
  - ・石岡測地観測局における絶対重力計の国内比較観測の実施及び日本重力基準網 2016 (JGSN2016) の構築：矢萩智裕・吉田賢司・平岡喜文・加藤知瑛
- ◇FIG Working Week 2017 (2017 年 FIG ワーキングウィーク) 平成 29 年 5 月 29 日～6 月 2 日 The Helsinki Exhibition & Convention CentreZ (フィンランド・ヘルシンキ)
  - ・3-D crustal deformation detected by SAR interferograms of ALOS-2 satellite (だいち 2 号の干渉画像が捉えた三次元地殻変動)：宮原伐折羅・森下遊 (地理地殻活動研究センター)・三浦優司
  - ・Development of GNSS positioning technique for improving positioning accuracy under urban environments (都市部における測位精度の改善のための技術開発)：酒井和紀 (測地観測センター)・宮原伐折羅・檜山洋平 (国土交通省)・古屋智秋 (測地観測センター)
- ◇第 16 回 IVS 技術開発センターシンポジウム 平成 29 年 6 月 21 日 情報通信研究機構鹿島宇宙技術センター (茨城県鹿嶋市)

- ・つくば 32m アンテナの 18 年間を振り返って：藤原みどり・栗原忍・石本正芳・若杉貴浩・梅井迪子
- ◇Technical Seminar Reference Frame in Practice (基準座標系に関する実務セミナー) 平成 29 年 7 月 29 日～30 日 神戸商工会議所 (兵庫県神戸市)
- ・Modelling of Crustal Deformation: Case Study in Japan (地殻変動モデルの作成：日本における事例)：宮原伐折羅
- ◇IAG-IASPEI 2017 年大会：Scientific Assembly of the International Association of Geodesy and the International Association of Seismology and Physics of the Earth's Interior (国際測地学協会及び地震学・地球内部物理学協会合同総会) 平成 29 年 7 月 30 日～8 月 4 日
- ・The leveling net adjustment with a correction for altitude variations obtained from GNSS-based control stations data (電子基準点データによる標高変動補正を考慮した水準網平均計算)：山下達也・豊福隆史・小門研亮 (国土交通省)・根本悟 (中部地方測量部)・田中博幸・森下遊 (地理地殻活動研究センター)
- ・Establishment of the new Japan Gravity Standardization Network (JGSN) 2016 (日本重力基準網の構築)：吉田賢司 (企画部)・矢萩智裕・平岡喜文・加藤知瑛
- ・Activities of the Asia-Oceania VLBI Group for Geodesy and Astrometry (AOV) (アジア・オセアニア VLBI グループ (AOV) の活動について)：川畑亮二 (国土交通省)・若杉貴浩・梅井迪子・Jim Lovell (タスマニア大学)
- ・VGOS development for Ishioka 13-m antenna (石岡 VLBI 観測施設における VGOS 整備状況について)：若杉貴浩・梅井迪子・豊田友夫 (石本正芳・川畑亮二 (国土交通省)・宮原伐折羅
- ・InSAR analysis all over Japan by ALOS-2 (Daichi-2) / PALSAR-2 data (だいち 2 号を用いた全国 SAR 干渉解析)：三浦優司宮原伐折羅・仲井博之・本田昌樹・攪上泰亮・森下遊 (地理地殻活動研究センター)
- ◇6th International VLBI Technology Workshop (第 6 回国際 VLBI 技術ワークショップ) 平成 29 年 10 月 9 日～12 日 イタリア学術会議ボローニャ研究エリア (イタリア・ボローニャ)
- ・The Activity report of Ishioka VLBI Station with newly developed VGOS equipment (石岡 VLBI 観測局と VGOS 観測機器の現状報告)：若杉貴浩・梅井迪子
- ◇日本測地学会第 128 回講演会 平成 29 年 10 月 4 日～6 日 瑞浪市総合文化センター (岐阜県瑞浪市)
- ・全国定常解析で得られた活火山域の SAR 干渉画像の抽出・公開：山下達也・攪上泰亮・林京之介・関口茉莉子・本田昌樹・仲井博之・宮原伐折羅・森下遊 (地理地殻活動研究センター)
- ・だいち 2 号干渉 SAR による地盤沈下検出性能の評価 - 九十九里平野の事例 -：攪上泰亮・山下達也・林京之介・関口茉莉子・本田昌樹・仲井博之・宮原伐折羅・森下遊 (地理地殻活動研究センター)
- ・だいち 2 号 (ALOS-2) の干渉 SAR で検出された雌阿寒岳周辺の地殻変動：林京之介・山下達也・攪上泰亮・本田昌樹・仲井博之・宮原伐折羅・藤原智 (地理地殻活動研究センター)・森下遊 (地理地殻活動研究センター)
- ・つくば VLBI 観測局および石岡 VLBI 観測施設における VLBI-GNSS コロケーション測量：藤原みどり・梅井迪子・若杉貴浩・石本正芳・豊田友夫 (測地観測センター)・栗原忍
- ◇平成 29 年度国土交通省国土技術研究会 平成 29 年 11 月 13 日～14 日 国土交通省中央合同庁舎 2 号館 (東京都千代田区)
- ・衛星測位を利用した海面の高さを測定する観測装置 (GNSSブイ) の開発：加古考範・兒玉篤郎・植田勲 (企画部)・大森伸哉 (企画部)・齋田宏明 (企画部)
- ◇VLBI懇談会シンポジウム2017 平成29年12月23日～24日 帝京科学大学千住キャンパス (東京都足立区)
- ・石岡VLBI観測施設～この3年間を振り返って～：石垣真史・若杉貴浩・石本正芳・栗原忍・藤原みどり・

梅井迪子

- ・国土地理院機関報告：栗原忍・石本正芳・若杉貴浩・石垣真史・藤原みどり・梅井迪子
- ◇SATテクノロジー・ショーケース2018 平成30年2月8日 つくば国際会議場（茨城県つくば市）
- ・石岡 VLBI 観測施設による広帯域観測：石垣真史・栗原忍・石本正芳・若杉貴浩・藤原みどり・梅井迪子
- ◇平成29年度CA研究会「地球内部電磁気現象研究の学際的研究分野への展開」平成30年1月9日～10日 東京大学地震研究所（東京都文京区）
- ・偏角（予測値）計算手法の構築：高橋伸也・矢萩智裕

[地理空間情報部]

- ◇第46回国土地理院報告会 平成29年6月7日 日経ホール（東京都千代田区）
- ・地理院地図を通じた地理空間情報の高度活用を目指して：出口智恵
- ◇第7回地理院地図パートナーネットワーク会議 平成29年6月8日 国土地理院関東地方測量部地震予知連絡会大会議室（東京都千代田区）
- ・地理院地図に関する話題：出口智恵
- ◇第3回測量・地理空間情報イノベーション大会 平成29年6月27日 伊藤国際学術研究センター（東京都文京区）
- ・地理院タイルの高度な利活用に向けた取り組み：川村拓弥
- ◇空間情報シンポジウム2017 平成29年7月5日 東京コンファレンスセンター（東京都港区）
- ・進化したウェブ地図「地理院地図」のご紹介：出口智恵
- ◇GeoSmart Asia 2017 平成29年8月21～24日 マレーシア国プトラジャヤ市国際コンベンションセンター
- ・地理空間情報活用のための政策の役割：下山泰志
- ◇FOSS4G 2017 Tokyo 平成29年9月16日 東京大学駒場リサーチキャンパス（東京都目黒区）
- ・地理院地図と FOSS4G 2017：出口智恵
- ◇北陸G空間フォーラム in 新潟 平成29年9月20日 朱鷺メッセ（新潟市中央区）
- ・地理院地図から広がるG空間：小島脩平
- ◇FOSS4G 2017 KYOTO.KANSAI 平成29年10月15日 総合地球環境学研究所（京都市北区）
- ・地理院地図と FOSS4G 2017：出口智恵
- ◇第8回地理院地図パートナーネットワーク会議 平成29年11月13日 国土地理院関東地方測量部地震予知連絡会大会議室（東京都千代田区）
- ・地理院地図に関する話題：出口智恵
- ◇平成29年度国土交通省国土技術研究会 平成29年11月13日～14日 国土交通省中央合同庁舎2号館（東京都千代田区）
- ・地理空間情報の利用促進のためのベクトルタイル活用の検討：川村拓弥
- ◇地調協技術シンポジウム 平成29年11月20日 測量年金会館
- ・地理院地図等国土地理院における地理空間情報活用推進の取組：下山泰志
- ◇森林GISフォーラム 平成29年11月28日 文部科学省研究交流センター（茨城県つくば市）
- ・国土地理院のウェブ地図「地理院地図のご紹介」：小島脩平
- ◇Geospatial World Forum (WGF) 平成30年1月17～19日 インド国ハイデラバード市国際コンベンションセンター

- ・地理空間情報政策の推進について：下山泰志
- ◇産学官連絡会議 平成30年1月24日 TKP 金沢新幹線口会議室（石川県金沢市）
  - ・ウェブ地図「地理院地図」と地図データ「地理院タイル」の紹介：小島脩平・石塚麻奈
- ◇i-Construction 測量新技術講習会 平成30年2月6日 コンセーレ（栃木県宇都宮市）
  - ・様々な用途に無料で使える地理院地図のご紹介：出口智恵
- ◇SAT テクノロジー・ショーケース2018 平成30年2月8日 つくば国際会議場（茨城県つくば市）
  - ・新たな地理空間情報活用に向けて ベクトルタイル提供実験：石塚麻奈

#### [基本図情報部]

- ◇日本写真測量学会平成29年度年次学術講演会 平成29年5月25日～26日 東京大学生産技術研究所（東京都目黒区）
  - ・WorldView-3 衛星画像の図化精度検証：早坂寿人・高橋祥・南秀和・中村孝之・筒井健（NTT データ）・市川真弓（NTT データ）
- ◇第46回国土地理院報告会 平成29年6月7日 日経ホール（東京都千代田区）
  - ・国土地理院における基本図測量での UAV の活用：中村孝之
- ◇平成29年度第2回動体計測研究会 平成29年7月14日 東京大学生産技術研究所（東京都目黒区）
  - ・小型 UAV による空中写真を用いた SfM の精度検証：菅井秀翔
- ◇平成29年度国土交通省国土技術研究会 平成29年11月13日～14日 国土交通省中央合同庁舎2号館（東京都千代田区）
  - ・災害対策用ヘリコプターによる映像を用いた迅速な被災地オルソ画像の作成：阪上 雅之

#### [応用地理部]

- ◇第46回国土地理院報告会 平成29年6月7日 日経ホール（東京都千代田区）
  - ・地理空間情報を防災に活かすー災害に備えた情報整備と活用促進のための取組ー：安喰靖
- ◇第7回地理院地図パートナーネットワーク会議 平成29年6月8日 国土地理院関東地方測量部地震予知連絡会大会議室（東京都千代田区）
  - ・防災・減災に役立つ地理空間情報：齋藤俊信
- ◇日本第四紀学会2017年大会 平成29年8月26～28日 福岡大学（福岡県福岡市）
  - ・2016年熊本地震における液状化及び建物倒壊の分布：研川英征・関口辰夫・吉田一希
- ◇雪氷研究大会（2017・十日町） 平成29年9月24～27日 クロステン十日町（新潟県十日町市）
  - ・2017年春季の雪崩災害の地形と傾斜量区分図：関口辰夫・栗栖悠貴・高桑紀之・野口高弘
- ◇日本地理学会2017年秋季学術大会 平成29年9月29日～10月1日 三重大学（三重県津市）
  - ・DEMを利用した主題図の整備と活用：栗栖悠貴・高桑紀之・関口辰夫
  - ・災害リスク情報の効果的な周知方法についてー国土交通省ハザードマップポータルサイトの事例ー：上芝卓也・大角光司・高桑紀之・山崎航・山本洋一
  - ・火山土地条件図「栗駒山」における「地獄釜」火口について：田中信・関口辰夫・栗栖悠貴・長野玄・野口高弘
- ◇UN-GGIM-AP 第6回総会 平成29年10月17日～18日 熊本市国際交流会館（熊本県熊本市）
  - ・災害対応の地理空間情報に関するスペシャルセッションー2016年熊本地震に関するケーススタディーー：永山透

- ◇平成 29 年度国土交通省国土技術研究会 平成 29 年 11 月 13 日~14 日 国土交通省中央合同庁舎 2 号館 (東京都千代田区)
  - ・地形分類データの改良と地理院地図 (ベクトルタイル) による公開: 吉田一希・飯田誠・小島脩平 (地理空間情報部)・清水雅行 (企画部)
- ◇日本活断層学会 2017 年度秋季学術大会 平成 29 年 11 月 24 日~26 日 広島大学東千田未来創生センター (広島県広島市)
  - ・1:25,000 活断層図 布田川・日奈久断層帯とその周辺「阿蘇」「熊本」の公開: 山中崇希・中澤尚・安喰靖・齋藤俊信・飯田誠・植田摩耶・中埜貴元 (地理地殻活動研究センター)
- ◇日本学術会議公開シンポジウム/第 5 回防災学術連携シンポジウム 平成 29 年 12 月 20 日 日本学術会議講堂 (東京都港区)
  - ・平成 29 年 7 月九州北部豪雨災害と地図: 大木章一
- ◇防災フォーラム@平塚ー災害に強い平塚市を目指してー 平成 30 年 1 月 13 日 平塚市美術館 (神奈川県平塚市)
  - ・測量技術を活用した国土地理院の災害対応: 根本正美
- ◇関西 G 空間フォーラム in 京都 平成 30 年 1 月 17 日 京都テルサ (京都府民総合交流プラザ) (京都府京都市)
  - ・災害に備えた国土地理院の地理空間情報と活用: 沼田佳典
- ◇第 9 回 GIS-Landslide 研究集会 平成 30 年 2 月 22 日 東京大学柏キャンパス (千葉県柏市)
  - ・平成 29 年 7 月九州北部豪雨に関する災害状況の写真判読について: 前島正吉
- ◇2017 年度東海大学情報技術センター研究・開発報告会 平成 30 年 3 月 3 日 東海大学校友会館 (東京都千代田区)
  - ・LANDSAT データ等を活用した災害対応及び国土現況の把握: 根本正美・沼田佳典・四野宮良周・林諒祐
- ◇「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」平成 29 年度成果報告シンポジウム 平成 30 年 3 月 14 日~16 日 東京大学本郷キャンパス (東京都文京区)
  - ・火山基本図・火山土地条件図整備: 前島正吉
  - ・都市圏活断層図整備: 齋藤俊信
- ◇日本地理学会 2018 年春季学術大会 平成 30 年 3 月 22~24 日 東京学芸大学 (東京都小金井市)
  - ・地形を切り口とした教科横断的な学習や地域学習の支援ができる地理院地図: 栗栖 悠貴・稲澤 容代
  - ・治水地形分類図からみた 2016 年 8 月北海道豪雨災害 (その 2)ー空知川水系の被害状況ー: 研川英征・関口辰夫・野口高弘・飯野一夫 (元応用地理部)・西村智博 (国際航業)・田村俊和 (東北大学) 平井幸弘 (駒澤大学)・石丸聡 (北海道立総合研究機構地質研究所)
  - ・十勝平野における小丘状地形の分布について: 関口辰夫・野口高弘・研川英征・倉田憲

[測地観測センター]

- ◇日本地球惑星科学連合 2017 年大会 平成 29 年 5 月 20~25 日 幕張メッセ (千葉県千葉市)
  - ・REGARD: GNSS-based rapid finite fault modeling system (REGARD: GNSS を用いた迅速な有限断層モデル推定システム): 川元智司・檜山洋平・阿部聡・高松直史・太田雄策 (東北大学大学院)・西村卓也 (京都大学防災研究所)・等々力賢 (富士通研究所)
  - ・高精度衛星測位の適用範囲拡大のための技術開発ー都市部における実証実験ー: 酒井和紀・檜山洋平・古

屋智秋・畑中雄樹・山尾裕美・鎌苅裕紀・佐藤雄大

- ・ The GSI Contribution to the IGS (国土地理院の IGS への貢献) : 阿部聡・高松直史・鈴木啓・山尾裕美・石川典彦・山口和典・川元智司
- ・ Development of New GEONET Analysis Strategy –Incorporating GLONASS Observations Data- (GEONET 新解析戦略の開発～GLONASS データの導入～) : 高松直史・阿部聡・石川典彦・山口和典・鎌苅裕紀・川元智司・畑中雄樹
- ◇第 46 回国土地理院報告会 平成 29 年 6 月 7 日 日経ホール (東京都千代田区)
  - ・ 進化する衛星測位技術と電子基準点の役割 : 川元智司
- ◇第 16 回 IVS 技術開発センターシンポジウム 平成 29 年 6 月 21 日 情報通信研究機構鹿島宇宙技術センター (茨城県鹿嶋市)
  - ・ 地上電波の干渉による GNSS 観測への影響とその対策 : 福崎 順洋・中久喜智一・木村勲・石川典彦・湯通堂亨・三浦優司・佐藤明日花
- ◇IGS Workshop (国際 GNSS サービス研究集会) 平成 29 年 7 月 3～7 日 国際センター (フランス・パリ)
  - ・ Suppression of GLONASS apparent fluctuation with a period of 8 days (GLONASS 解析結果の 8 日周期変動の低減) : 酒井和紀・阿部聡・高松直史・石川典彦・川元智司・畑中雄樹・辻宏道・山口和典・鎌苅裕紀・檜山洋平
- ◇IAG-IASPEI2017 (国際測地学協会及び国際地震学・地球内部物理学協会合同学術総会) 平成 29 年 7 月 30～8 月 4 日 神戸国際会議場・神戸商工会議所 (兵庫県神戸市)
  - ・ Continuing and Emerging Roles of National GNSS CORS as Geodetic Infrastructure: Case study of GEONET in Japan (測地インフラとしての国家 GNSS 連続観測システムの役割 : 日本の GEONET の場合) : 辻宏道・畑中雄樹・川元智司・古屋智秋・宮原伐折羅 (測地部)・矢萩智裕 (測地部)・山下達也 (測地部)・宗包浩志 (地理地殻活動研究センター)・檜山洋平
  - ・ Development of New Analysis Strategy for GNSS observation Network in Japan (日本の GNSS 観測網のための新解析戦略の開発) : 阿部聡・高松直史・石川典彦・山口和典・鎌苅裕紀・檜山洋平・川元智司・畑中雄樹・辻宏道
  - ・ The Operational Result for GEONET Real-time Analysis System for Rapid Finite Fault Modeling (電子基準点リアルタイム解析の運用報告) : 高松直史・川元智司・檜山洋平・阿部聡・太田雄策 (東北大学大学院)・西村卓也 (京都大学防災研究所)
  - ・ REGARD: GNSS-based rapid finite fault modeling system (REGARD:GNSS を用いた即時断層推定システム) : 川元智司・檜山洋平・阿部聡・高松直史・太田雄策 (東北大学大学院)・西村卓也 (京都大学防災研究所)・等々力賢 (富士通研究所)
- ◇日本測地学会第 128 回講演会 平成 29 年 10 月 4～6 日 瑞浪市総合文化センター (岐阜県瑞浪市)
  - ・ GEONET 新解析戦略の開発 : 阿部聡・高松直史・石川典彦・木村勲・川元智司・畑中雄樹
  - ・ GEONET リアルタイム解析システム REGARD によるリアルタイム断層推定 : 高松直史・川元智司・宮川康平・阿部聡・太田雄策 (東北大学大学院)・西村卓也 (京都大学防災研究所)
  - ・ LTE(1.5GHz 帯)周波数電波によって発生する GNSS 観測への影響と対策(その 2) : 佐藤明日花・三浦優司・中久喜智一・福崎順洋・辻宏道
  - ・ 高精度衛星測位の適用範囲の拡大のための技術開発 ―都市部におけるマルチパス軽減手法の評価― : 多田直洋・大中泰彦・酒井和紀・鎌苅裕紀 (北陸地方測量部)・宮川康平・檜山洋平 (国土交通省)・古屋

智秋・畑中雄樹

- ◇9th Multi-GNSS Asia (MGA) Conference (第9回マルチGNSSアジア会議) 平成29年10月9日~11日  
アヤナミッドプラザジャカルタ (インドネシア・ジャカルタ)
  - ・Development of multipath mitigation methods to improve GNSS positioning accuracy under urban environments (都市部における測位精度改善のためのマルチパス低減手法の開発): 福崎 順洋・酒井 和紀・檜山 洋平・古屋 智秋・大中 泰彦・宮川 康平
- ◇第8回極域科学シンポジウム 平成29年12月4日~7日 国立極地研究所 (東京都立川市)
  - ・Twenty-year continuous operation of Syowa IGS station (昭和IGS観測局の運用20年): 福崎順洋・山尾裕美・石川典彦
- ◇2018年電子情報通信学会総合大会 平成30年3月20~23日 東京電機大学 東京千住キャンパス (東京都足立区)
  - ・GNSS観測における電波干渉の影響: 中久喜智一・三浦優司・佐藤明日花・福崎順洋・畑中雄樹・辻宏道

[地理地殻活動研究センター]

- ◇EGU (欧州地球科学連合) 2017大会 平成29年4月23~28日 オーストリア ウィーン
  - ・Locally distributed crustal deformation in potential areas of phreatic eruptions, detected by InSAR analyses (InSAR解析によって検出された水蒸気噴火発生場の局所的地殻変動): 小林知勝
  - ・Three-dimensional deformation mapping of a dike intrusion event in Sakurajima in 2015 by exploiting the right- and left-looking ALOS-2 InSAR (2015年桜島ダイク貫入イベントにおける右及び左観測 ALOS-2 InSAR を利用した3次元変動場): 小林知勝
- ◇日本地球惑星科学連合2017年大会 平成29年5月20~25日 幕張メッセ (千葉市美浜区)
  - ・SLR monthly gravity solutions using the C5++ software (C5++ソフトウェアを用いたSLR重力解): 松尾功二, 大坪俊通 (一橋大学)
  - ・Time dependent block fault modeling of Japan (時間変化を含めた日本のブロック断層モデリング): 小沢慎三郎
  - ・SAR interferometry using RADARSAT-2, ALOS and ALOS-2 data; case study in Kanto region (RADARSAT-2, ALOS, ALOS-2のデータを利用した干渉SAR (関東地方の事例)): 森下遊
  - ・Preparatory research on the development of rapid and accurate GNSS routine analysis system (迅速・高精度なGNSS定常解析システムの構築に関する予備研究): 中川弘之
  - ・Displacement in Kushiro-shitsugen (wetland) induced by heavy rainfall in 2016 Detected by ALOS-2 SAR (ALOS-2のSARによってとらえられた釧路湿原の2016年の大雨による地表変位): 藤原智, 森下遊, 中埜貴元, 三浦優司 (測地部), 攪上泰亮 (測地部)
  - ・Volcanic deformation of Atosanupuri volcanic complex in the Kussharo caldera, Japan, from 1993 to 2016 revealed by JERS-1, ALOS and ALOS-2 radar interferometry (JERS-1, ALOS 及び ALOS-2 の干渉 SAR によってとらえられた屈斜路カルデラ内アトサヌプリ火山群の火山性地殻変動 (1993-2016)): 藤原智, 村上亮 (北海道大学), 西村卓也 (京都大学), 飛田幹男 (JAXA), 矢来博司, 小林知勝
  - ・Detection of slope deformation by using InSAR analysis - A case of Shikoku Mountains and Asahi Mountains (SAR干渉解析による斜面変動検出 - 四国山地, 朝日山地の事例): 中埜貴元, 山中雅之, 小林知勝, 森下遊, 藤原智, 仲井博之 (測地部)
  - ・Improvement of method that makes Japanese old and dense gravity data consistent with Japan gravity standardization

- net 2016 (過去の稠密重力データの日本重力基準網 2016 への整合手法の高度化) : 宮崎隆幸
- Normal-faulting earthquakes in the northern area of Ibaraki Prefecture in 2011 and 2016 - Duplicate events detected by InSAR observations - (2011 年と 2016 年に茨城県北部で発生した正断層型の地震について -InSAR 観測により捉えられた瓜二つの地震-) : 小林知勝
  - Locally distributed crustal deformation in potential areas of phreatic eruptions detected by InSAR analyses (干渉 SAR 解析によって検出される水蒸気噴火発生場の局所的地殻変動) : 小林知勝
  - Consideration of existence of active faults in the Reconstruction Plan of Mashiki Town (益城町復興計画における活断層の位置づけ) : 宇根寛
  - Present situation and problems of liquefaction hazard maps (液状化ハザードマップの現状と課題) : 宇根寛, 中埜貴元, 田中海晴 (東北大学), 安藤竜介 (大阪大学・院), 米川直志 (千葉科学大学)
  - Field survey and interpretation of the surface linear ruptures in northwest of the outer rim of the Aso caldera emerged on SAR interferogram (SAR 干渉画像に現れた阿蘇外輪山北西部の地表変位の現地検証とその解釈) : 宇根寛, 中埜貴元, 藤原智, 小林知勝, 森下遊, 岩田和美, 佐藤浩 (日本大学), 八木浩司 (山形大学)
  - Crustal deformation and a fault model of the 2016 central Tottori prefecture earthquake (2016 年鳥取県中部の地震に伴う地殻変動と震源断層モデル) : 矢来博司, 小林知勝, 森下遊, 檜山洋平, 三浦優司
  - Relation between 2016 Kumamoto Earthquake-induced landslide surface deformation and 3-D surface deformation detected by Pixel Offset method using InSAR image (SAR 干渉画像を用いた Pixel Offset 法で検出した 2016 年熊本地震の 3 次元地表変動と地すべり性地表変動の関係) : Fred F. Pollitz<sup>1</sup>, Chuck Wicks<sup>1</sup>, 小林知勝<sup>2</sup>, 矢来博司<sup>2</sup>, 芝崎文一郎<sup>3</sup> (1. US Geological Survey (米国地質調査所), 2. 国土地理院, 3. 建築研究所) 共著
  - Reserach on active faults in urbanized area of Mashiki Town by the City Bureau, MLIT and its significance (国土交通省都市局による益城町市街地の活断層調査の意義) : 熊木洋太(専修大学文学部), 宇根寛 共著
  - Relation between 2016 Kumamoto Earthquake-induced landslide surface deformation and 3-D surface deformation detected by Pixel Offset method using InSAR image (SAR 干渉画像を用いた Pixel Offset 法で検出した 2016 年熊本地震の 3 次元地表変動と地すべり性地表変動の関係) : 佐藤浩 (日本大学文理学部), 宇根寛 共著
- ◇日本写真測量学会平成 29 年度年次学術講演会 平成 29 年 5 月 25~26 日 東京大学生産技術研究所 (東京都目黒区)
- オルソ画像タイルを用いた GCP 自動選点システムの開発 : 大野裕幸
- ◇Fringe 2017 (フリンジ 2017, 干渉 SAR に関する国際ワークショップ) 平成 29 年 6 月 5~9 日 アールト大学 (フィンランド・ヘルシンキ)
- Crustal Deformation Caused by Large Earthquakes in Japan, Italy and New Zealand in 2016 Observed by ALOS-2 (ALOS-2 によって観測された 2016 年に発生した日本, イタリア, ニュージーランドでの大地震に伴う地殻変動) : 森下遊\*, 小林知勝, 矢来博司, 藤原智, 中埜貴元, 三浦優司 (測地部), 上芝晴香 (測地部), 攪上泰亮 (測地部), 本田昌樹 (測地部), 仲井博之 (測地部), 宮原伐折羅 (測地部), 宇根寛
- ◇38th Canadian Symposium on Remote Sensing (CSRS) (第 38 回カナダリモートセンシングシンポジウム) 平成 29 年 6 月 20~22 日 ケベック大学モントリオール校(UQAM) (カナダ・ケベック州モントリオール)
- Detection of small surface displacement by InSAR using RADARSAT-2, ALOS and ALOS-2 data (RADARSAT-2, ALOS 及び ALOS-2 データを使用した干渉 SAR による微小地表変位の検出) : 森下遊
- ◇28th International Cartographic Conference (ICC2017) (第 28 回国際地図学会議) Workshop 平成 29 年 7 月 2 日 Washington Marriott Wardman Park Hotel (アメリカ・ワシントン D.C.)



- ・ (2011年東北地方太平洋沖地震及び2016年熊本地震への国土地理院の取組) : 宇根寛
- ◇28th International Cartographic Conference (ICC2017) 平成29年7月2~7日 Washington Marriott Wardman Park Hotel (アメリカ・ワシントンD.C.)
  - ・ Semi-automated landform classification for hazard mapping of soil liquefaction by earthquake (液状化ハザードマップ作成のための半自動地形分類) : 中埜貴元
  - ・ Recent innovation of geospatial information technology to support disaster risk management and responses (防災と災害対応を支える地理空間情報の新技術) : 宇根寛, 中埜貴元
  - ・ What is the role of national geospatial information authority for promotion of geographic education? (国家地理空間情報機関は地理教育の推進にどのような役割を果たすべきか) : 宇根寛
- ◇京都大学防災研究所 平成29年度一般研究集会 平成29年7月7~8日 京都大学防災研究所 (京都府宇治市)
  - ・ ALOS-2 SAR データで捉えた2016年熊本地震の地殻変動と断層破壊の詳細 : 小林知勝, 水藤尚, 矢来博司, 森下遊, 中埜貴元, 藤原智
  - ・ ALOS-2 の SAR で見つかった平成28年熊本地震による地表断層群と阿蘇谷での大きな変動 : 藤原智, 宇根寛, 矢来博司, 小林知勝, 森下遊, 中埜貴元
  - ・ ALOS-2 が捉えた2016年Kaikoura地震に伴う地殻変動 : 矢来博司, 森下遊, 小林知勝, 藤原智
- ◇IAG-IASPEI 2017年大会 平成29年7月30日~8月4日 神戸国際会議場, 神戸商工会議所 (兵庫県神戸市)
  - ・ A prototype system for PPP kinematic positioning of Japanese GEONET stations (電子基準点精密単独測位キネマティック解析プロトタイプシステムについて) : 宗包浩志
  - ・ SLR monthly gravity solutions using the C5++ software (C5++ ソフトウェアを用いたSLR重力解) : 松尾功二, 大坪俊通 (一橋大学)
  - ・ An improved gravimetric geoid model for Japan based on the Stokes-Helmert scheme with a deterministically modified Stokes' kernel (ストークス法と決定論的アプローチによる日本列島の改良重力ジオイド・モデル) : 松尾功二\*, 宮崎隆幸, 宮原伐折羅 (測地部), 黒石裕樹 (東京大学)
  - ・ Crustal deformation of the 2016 Kaikoura earthquake, New Zealand, revealed by ALOS-2 (ALOS-2によって明らかになった2016年ニュージーランド・カイクラ地震の地殻変動) : 森下遊, 小林知勝, 藤原智, 矢来博司
  - ・ Simulation of postseismic deformation caused by the 2011 Tohoku-Oki earthquake (2011年東北地方太平洋沖地震の余効変動シミュレーション) : 水藤尚
  - ・ Crustal deformation of the 2016 Kumamoto earthquake sequence (3) - Small displacement linear surface ruptures detected by ALOS-2 SAR - (2016年熊本地震の地殻変動(3)-だいち2号SARによる小変位の地表断層群の抽出-) : 藤原智\*, 矢来博司, 小林知勝, 森下遊, 中埜貴元, 宮原伐折羅 (測地部), 仲井博之 (測地部), 三浦優司 (測地部), 上芝晴香 (測地部), 攪上泰亮 (測地部), 宇根寛
  - ・ Estimation of Post Seismic Deformation Model Using Monte Carlo Method(モンテカルロ法による地震後変動モデルの推定) : 宮崎隆幸
  - ・ Crustal deformation of the 2016 Kumamoto earthquake sequence (1) - Foreshocks - (2016年熊本地震の地殻変動(1)-前震-) : 小林知勝, 川元智司 (測地観測センター), 檜山洋平 (測地観測センター)
  - ・ Detailed crustal deformation and fault ruptures of the 2016 Kumamoto Earthquake revealed by ALOS-2 SAR data (ALOS-2 SAR データで捉えた2016年熊本地震の地殻変動と断層破壊の詳細) : 小林知勝, 矢来博司, 森下遊, 川元智司 (観測センター), 藤原智, 中埜貴元

- Normal-faulting earthquakes in the northern area of Ibaraki Prefecture, Japan in 2011 and 2016 - Duplicate events detected by InSAR observations -(2011 年と 2016 年に茨城県北部で発生した正断層型の地震について — InSAR 観測により捉えられた瓜二つの地震—) : 小林知勝
  - Crustal deformation of the 2016 Kumamoto earthquake sequence (2) - Mainshocks - (2016 年熊本地震の地殻変動 (2) —本震—) : 矢来博司, 小林知勝, 森下遊, 藤原智, 川元智司, 檜山洋平
  - Crustal deformation and a fault model of the 2016 central Tottori prefecture earthquake (2016 年鳥取県中部の地震の地殻変動と震源断層モデル) : 矢来博司, 小林知勝, 森下遊, 檜山洋平, 三浦優司
  - Description and interpretation of the surface ruptures in northwest of the outer rim of the Aso caldera triggered by Kumamoto Earthquake (熊本地震で誘発された阿蘇外輪山北西部の地表変位の記載とその解釈) : 宇根寛, 中埜貴元, 藤原智, 小林知勝, 森下遊, 岩田和美, 佐藤浩 (日大大学), 八木浩司 (山形大学)
- ◇International Glaciological Society 2017 meeting (国際雪氷学会 2017 年会合) 平成 29 年 8 月 14~19 日 コロラド大学 (アメリカ・コロラド州 ボルダール市)
- Detection of quadratic ice mass variations in Greenland by ICESat laser altimetry (ICESat レーザー高度観測によるグリーンランドの加速的氷質量変化の検出) : 松尾功二, 鈴木和良 (海洋研究開発機構), 福田洋一 (京都大学)
- ◇第 56 回(公社)日本地すべり学会研究発表会 平成 29 年 8 月 23~24 日 ホクト文化ホール (長野県長野市)
- 昭和期に収集された山間部の国道沿い斜面における検土杖貫入深の統計 : 岩橋純子・松四雄騎 (京都大)
- ◇日本火山学会 2017 年度秋季大会学術講演会 平成 29 年度一般研究集会 平成 29 年 9 月 21~24 日 熊本大学 黒髪南キャンパス (熊本県熊本市)
- 時間依存逆解析による火山性地殻変動力源の逐次推定 : 宗包浩志
  - ALOS-2 SAR が捉えた雌阿寒岳から雄阿寒岳での地殻変動 : 藤原智, 小林知勝, 撓上泰亮 (測地部), 本田昌樹 (測地部), 森下遊, 矢来博司
  - 干渉 SAR 時系列解析で捉えられた 2015 年 4 月以前の箱根山・大涌谷における局所的膨張性地殻変動 : 小林知勝, 森下遊
  - 2016 年熊本地震後の阿蘇山の地殻変動 : 矢来博司, 小林知勝, 藤原智, 瀬川秀樹 (測地観測センター), 川元智司 (測地観測センター)
- ◇日本地理学会 2017 年秋季学術大会 平成 29 年 9 月 29~30 日 三重大学 (三重県津市)
- 宅地盛土の地震時安全性評価パラメータの改良 : 中埜貴元
  - 平成 28 年熊本地震に伴い阿蘇外輪山北西部に現れた「地震断層」の分布とその性質 : 宇根寛・中埜貴元・藤原智・小林知勝・森下遊・岩田和美・佐藤浩 (日本大学)・八木浩司 (山形大学)
- ◇日本測地学会第 128 回講演会 平成 29 年 10 月 4~6 日 瑞浪市総合文化センター (岐阜県瑞浪市)
- キネマティック GNSS 時系列に含まれる微小信号の抽出 : 宗包浩志
  - 水蒸気噴火発生場における Phase Linking 法による微小地殻変動検出の有効性 : 小林知勝, 森下遊
  - 2014 年長野県北部の地震の複雑な地殻変動と断層滑り : 小林知勝, 森下遊, 矢来博司
  - 多様な SAR データ及び干渉 SAR 時系列解析手法の比較 : 森下遊, 小林知勝
  - 迅速・高精度な GNSS 定常解析システムの構築に関する研究 : 中川弘之
  - 2016 年熊本地震の粘性緩和による変動 : 水藤尚
  - 2016 年熊本地震後の阿蘇山の地殻変動 : 矢来博司, 小林知勝, 藤原智, 瀬川秀樹(測地観測センター), 川元智司(測地観測センター)

- ・日向灘 SSE と宮崎北部 SSE の繰り返し周期：矢来博司，宗包浩志，小沢慎三郎
  - ・東北地方太平洋沖地震の余効変動の予測実験：藤原智，飛田幹男(測地部)
  - ・2016 年熊本地震に伴う地表断層群及び阿蘇谷での水平変位の成因は何か？：藤原智，森下遊，中埜貴元，小林知勝，矢来博司，山中雅之，宇根寛
  - ・日本の精密重力ジオイド・モデルの開発（その 3）：松尾功二，宮崎隆幸，黒石裕樹（東京大学）
  - ・GEONET 観測点における地震後変動モデルの推定手法の開発：宮崎隆幸
- ◇日本地震学会 2017 年度秋季大会 平成 29 年 10 月 25～27 日 かごしま県民交流センター（鹿児島県鹿児島市）
- ・東北地方太平洋沖地震の余効変動の予測実験：藤原智，飛田幹男(測地部)
  - ・2016 年熊本地震に伴う阿蘇谷での水平変位及び地表断層群の成因は何か？：藤原智，森下遊，中埜貴元，小林知勝，矢来博司，山中雅之
  - ・2016 年熊本地震の余効変動モデル：水藤尚
  - ・2011 年と 2016 年に茨城県北部において再来期間 6 年で発生した正断層型の地震について：小林知勝
  - ・2014 年長野県北部の地震の複雑な地殻変動と断層滑り：小林知勝，森下遊，矢来博司
  - ・紀伊水道のスロースリップ：小沢慎三郎，矢来博司
  - ・日向灘 SSE と宮崎北部 SSE の繰り返し周期：矢来博司，宗包浩志，小沢慎三郎
- ◇平成 29 年度国土交通省国土技術研究会 平成 29 年 11 月 13 日～14 日 国土交通省中央合同庁舎 2 号館（東京都千代田区）
- ・新しい標高体系の構築に向けた精密重力ジオイドの開発：松尾 功二
- ◇日本活断層学会 2017 年度秋季学術大会 平成 29 年 11 月 24～25 日 広島大学東千田未来創生センター（広島県広島市）
- ・熊本地震の「お付き合い断層」が提起した「地震断層」の多様性：宇根寛・中埜貴元・藤原智
  - ・阿蘇外輪山北西部の活断層における GPR 探査（速報）：中埜貴元，宇根寛，佐藤浩（日本大学）
- ◇2017 AGU Fall Meeting（アメリカ地球物理学連合大会） 平成 29 年 12 月 11～15 日 ニューオーリンズモリアルコンベンションセンター（アメリカ・ルイジアナ州 ニューオーリンズ市）
- ・An improved gravimetric geoid model for Japan based on the Stokes-Helmert scheme with a deterministically modified Stokes' kernel（ストークス法と決定論的アプローチによる日本列島の改良重力ジオイド・モデル）：松尾功二，宮崎隆幸，宮原伐羅折，黒石裕樹（東京大学）
  - ・Global terrain classification using Multiple-Error-Removed Improved-Terrain (MERIT) to address susceptibility of landslides and other geohazards（エラー除去済みの地形モデル（MERIT）を用いた，斜面崩壊やその他の地形・地盤災害の脆弱性を扱うための全球の地形分類）：岩橋純子，山崎大（東京大学/JAMSTEC），松岡昌志（東京工業大学），Patcharavadee Thamarux（東京工業大学），Julie Herrick (USGS)，Alan Yong (USGS)，Utkarsh Mitah (カリフォルニア工科大学)
  - ・Continuous monitoring of a magma chamber' s pressure changes using geodetic data: time-dependent inversion with Ensemble Kalman Filter (EnKF)（測地学的手法によるマグマだまり圧力の連続モニタリング：アンサンブルカルマンフィルタによる時間依存インバージョン）：宗包浩志，及川純（東京大学地震研究所）
  - ・InSAR-detected local ground inflation prior to small phreatic eruption（InSAR 解析によって検出された水蒸気噴火に先行する局所的な膨張性地殻変動）：小林知勝，森下遊
- ◇平成 29 年度東京大学地震研究所共同利用研究集会 平成 29 年 12 月 19～20 日 広東京大学地震研究所（東京都文京区）

- ・世界の衛星 SAR の動向：森下遊
- ◇Joint PI Workshop of Global Observation Mission FY2017 平成 30 年 1 月 23～25 日 T K P ガーデンシティ 竹橋（東京都千代田区）
  - ・ SAR-revealed slip partitioning on a bending fault plane for the 2014 Northern Nagano earthquake （SAR により明らかにされた 2014 年長野県北部の地震における折れ曲がった断層面上でのすべりの分岐）：小林知勝，森下遊，矢来博司
- ◇平成 29 年度防災研究所 研究発表講演会 平成 30 年 2 月 20～21 日 京都大学宇治キャンパス（京都府宇治市）
  - ・岩国地区国道 2 号沿い斜面の昭和期からの調査記録と災害記録について：岩橋純子，松四雄騎（京都大学）
  - ・干渉 SAR で検出された斜面変動の形態的特徴：中埜貴元，岩橋純子
- ◇日本地理学会 2018 年春季学術大会 平成 30 年 3 月 22～24 日 東京学芸大学（東京都小金井市）
  - ・阿蘇外輪山北西部断層群の「お付き合い地殻変動」は累積してきたか？(速報)：宇根 寛，中埜貴元（国土地理院），佐藤 浩（日本大学），八木浩司（山形大学）
  - ・ SAR 干渉画像から捉えた 2016 年熊本地震によるリニアメント変動：佐藤浩（日本大学），宇根寛，中埜貴元
  - ・国土地理院の地形分類への取組：岡谷隆基（企画部），宇根寛